

日本体育・スポーツ政策学会第29回学会大会要項

大会テーマ：社会の持続可能な発展をスポーツ政策から考える～Go Beyond 2020

主旨：

我が国では、現在2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会のホスト国として関係機関・団体が大会の開催準備に鋭意取り組んでいる。同時に我が国では2020年を好機と捉え様々な社会課題を解決しようとする動きもある。しかし、我々の到達点は2020年ではない。日本社会は2020年後も持続可能な発展を目指さなければならない。本学会大会では、スポーツが日本社会の持続可能な発展にどのように貢献できるのか。このためにスポーツ政策はどうあるべきかといった観点から議論する機会とする。

- 1 会 期： 2019年11月30日（土）から2019年12月1日（日）
- 2 会 場： 日本体育大学 東京・世田谷キャンパス
（住所）〒158 - 8508 東京都世田谷区深沢 7-1-1
（電車でのアクセス）東急田園都市線「桜新町」駅徒歩15分
（アクセスマップ）<https://www.nittai.ac.jp/access/tokyo.html>
- 3 主 催： 日本体育・スポーツ政策学会
- 4 共 催： 日本体育大学
- 5 主 管： 日本体育・スポーツ政策学会第29回学会大会実行委員会
- 6 後 援： スポーツ庁（予定）、独立行政法人日本スポーツ振興センター
- 7 参加申込：
 - (1) 期日：2019年11月25日（月）（当日参加申し込み可）
 - (2) 申込方法：所定の「第29回学会大会参加および一般発表研究発表申込書」に必要事項をご記入の上、日本体育・スポーツ政策学会第29回学会大会実行委員会事務局（sportseisakugakkai@gmail.com）までEmailでご送付ください。この申込書は、日本体育・スポーツ政策学会のホームページからダウンロードできます。
 - (3) 参加費：一般会員5,000円、学生会員1,000円、会員外5,000円、会員外院生1,000円
※学部生は、学生証を提示し確認された場合は無料となります。
※情報交換会の参加費は、学会会員4,000円、学生会員2,000円、会員外4,000円、会員外院生2,000円
 - (4) 参加費振込先：郵便振込口座番号：00130-4-561426
口座名：日本体育・スポーツ政策学会
- 8 一般研究発表申込：
 - (1) 申込期間：2019年9月9日（月）～10月31日（木）

- (2) 研究発表資格：研究発表者は、会員であること。また口頭発表者は、原則として筆頭発表者であること。
- (3) 申込方法：所定の「第29回学会大会参加および一般研究発表申込」に必要事項を記入の上、Email (sportseisakugakkai@gmail.com) にて大会事務局へ申し込む。
- (4) 発表抄録提出期限：2019年11月5日（火）。提出の際に、発表者全員が2019年度学会費及び学会参加費を納入済みであること。
- (5) 発表抄録送付先：大会実行委員会プログラム編集担当（日本体育大学 齊藤・佐野）
Email (sportseisakugakkai@gmail.com) にて添付ファイルにより提出する。

9 情報交換会：

- (1) 開催日時：2019年11月30日（土）17:30-19:30
- (2) 開催場所：日本体育大学 東京・世田谷キャンパス N ラウンジ

10 日程：

大会1日目：11月30日（土）

10:30	受付開始
11:00 - 12:00	一般研究発表
12:00 - 12:45	理事会
13:00 - 13:45	総会
14:00 - 15:00	基調講演
15:15 - 17:15	シンポジウム
17:30 - 19:30	情報交換会

大会2日目：12月1日（日）

8:30	受付開始
9:30 - 10:30	若手政策研究セッション
10:45 - 12:15	一般研究発表

<基調講演>

- ・テーマ：スポーツの可能性～メガスポーツイベントとソフトパワー～
- ・主旨：英国のマンチェスターメトロポリタン大学においてスポーツ政策、スポーツ政治などの研究に取り組む Jonathan Grix 教授が、オリンピックをはじめとするメガスポーツイベントとソフトパワーに焦点をあて、持続可能な社会におけるスポーツの可能性について講演する。
- ・講演者：Jonathan Grix（マンチェスターメトロポリタン大学 教授・International Journal of Sport Policy and Politics, Editor-in-Chief）

<シンポジウム>

- ・テーマ：社会の持続的な発展に向けたスポーツ政策のあり方とスポーツ政策学の課題
- ・主旨：平成29年3月、2020年東京大会等を契機としたスポーツの発展及びスポーツを通じた社会の持続的な発展を目指し、第2期スポーツ基本計画が策定された。本計画

では、スポーツの社会に対する貢献として、共生社会・健康長寿社会の実現、経済・地域の活性化が掲げられているが、スポーツ政策の観点からは、これらの貢献・効果をどう把握し、評価するかという観点も重要であろう。本シンポジウムでは、経済・地域活性化の効果や指標に関する議論をきっかけとして、環境等の他の政策領域の事例も参照しつつ、2020年以降の社会の持続的な発展に向けたスポーツ政策のあり方やスポーツ政策学の課題についての議論を深めたい。

- ・ **コーディネーター**：横田匡俊（日本体育大学 スポーツマネジメント学部准教授）
- ・ **シンポジスト**：
津々木昌子（スポーツ庁国際課係長）
庄子博人（同志社大学スポーツ健康科学部准教授）
稲垣憲治（京都大学プロジェクト研究員）

<若手政策セッション>

- ・ **テーマ**：スポーツ政策学研究の国際的動向を知る：国際学会に参加してみよう！
- ・ **主旨**：International Journal of Sport Policy and Politics の Editor-in-Chief（編集長）である Jonathan Grix 教授（基調講演の講演者）を囲んで、スポーツ政策学研究の国際的動向を聞きつつ、国際学会での発表や学会誌への論文投稿に向けて意見交換を行う場とする（簡易通訳あり）。海外での活動に関心のある大学教員・大学院生・国際的な視野を持って将来大学院への進学を考えている学部生など、スポーツ政策学研究に関心のある若手を幅広く募るセッションとする（当日参加も可）。
なお、本セッションを実りあるものとするために、11月30日（土）9:30 から下記参考文献を読み合わせる事前勉強会を開催する。参加者には事前勉強会への参加を推奨する。

- ・ **コーディネーター**：田中暢子（桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部教授）
笹生心太（東京女子体育大学体育学部講師）
- ・ **講師**：Jonathan Grix（マンチェスターメトロポリタン大学 教授・International Journal of Sport Policy and Politics, Editor-in-Chief）

*参考文献：Grix, Jonathan, 2018, Theory and methods in sport policy and politics research, International Journal of Sport Policy and Politics, 10(4), 615-620. (ウェブ上から PDF ファイルダウンロード可)

11 問い合わせ

第29回学会大会実行委員会事務局

Email: sportseisakugakkai@gmail.com

【日本体育・スポーツ政策学会第29回学会大会実行委員会】

- | | |
|----------|---------------|
| 委員長 | 日比野幹生（日本体育大学） |
| 副委員長 | 田中 暢子（桐蔭横浜大学） |
| 基調講演担当 | 舟橋 弘晃（早稲田大学） |
| シンポジウム担当 | 横田 匡俊（日本体育大学） |

若手セッション担当	笹生 心太 (東京女子体育大学)
一般研究発表担当	齊藤 隆志 (日本体育大学)
	佐野 昌行 (日本体育大学)
プログラム担当	馬場進一郎 (日本体育大学)
	佐野 昌行 (日本体育大学)
受付・会計担当	眞鍋 隆祐 (彰栄保育福祉専門学校)
	野島 栄里 (日本体育大学)
会場担当	松澤 隼斗 (日本体育大学)
懇親会担当	阿部 征大 (神戸医療福祉大学)
広報・協賛担当	佐藤 潤 (日本体育大学)
	松瀬 学 (日本体育大学)